

# 靴のお手入れ

靴は、履く人の体重を支えるので、特に革に負担がかかる商品ですが、正しくお手入れすれば、10年、20年と使用できます。クリームだけ塗るなど、簡単なケアだけでは塗膜が厚くなってヒビ割れすることがあるので、1か月に1度は本格ケアをおすすめします。

## 1 全体をブラッシング

馬毛などの柔らかいブラシで、往復せずに一定方向にかけて、全体の汚れやほこりを取り除きます。金具や飾りのある部分は、ほこりがたまりやすいので念入りにブラッシングしましょう。

## 2 クリーナーで汚れを落とす

布にクリーナーをのせ、小さな円を描くように少しずつ塗り込み、汚れや古いクリームの残りを布に移しながら全体の汚れを取り除きます。下地をきれいにすることで、新たなクリームが浸透しやすくなります！

※直接クリーナーを製品に塗ると、シミになることもあるので避けましょう。

おすすめは、保革効果のある乳化性のクリームです。革に柔軟性や艶を与えてくれます。

ワックス+オイル+水で作られることが多く、無色を選べば幅広い用途に使用可能です。

### 3 クリームで栄養を与える

革と同色か、無色のクリームを布に取り、薄く全体に馴染ませます。

革の大敵は乾燥です。ですが、量を多く塗るより、こまめにケアしてあげる方が重要です。

量を多く塗ることは意味がなく、必要以上のクリームを塗りすぎると毛穴を埋めたり、クリームを除去しづらくなるので避けましょう。15分程度クリームが浸透、馴染むのを待ってあげると更に良いです。

### 4 ブラッシング

一方向に、豚毛などの硬めのブラシを掛けて、余分なクリームを落とします。

ブラシ側に余分なクリームは吸着されます。(俗にいう「ブラシを育てる」です!)

この際も、金具やステッチなどにクリームが残らないように気を付けましょう。

### 5 クロスで仕上げる

仕上げ専用のポリッシングクロスで乾拭きを行うと艶が出ます。

※ストックングなどを更に使用している方もいるかと思いますが、繊維が硬く、革を傷つける恐れもあるので、使用は避けましょう。専用のクロスを使えばストックングよりも艶が出るのでお勧めです。

## 鞆のお手入れ

面積が広く、傷などが目立ちやすいバッグですが、基本的なお手入れ方法は靴と同様です。異なる部分は…

### フォーム（泡）タイプのケア用品

汚れ落としと艶出しを兼ねた、フォームタイプのクリームを使えば、面積の大きな製品のお手入れも簡単です！

フォームタイプも製品に直接塗るとシミになる可能性もあるので、布に塗布して、目立たない部分（底など）でテストしてから使用しましょう。

### 詰め物

お手入れに注力すると、忘れがちなのが保管方法。

全て吊り下げて保管するのも場所をとるし、かといって置きっぱなしだとバッグの重さで型崩れしてしまいます。

そんなときには紙製の詰め物の中に入れて「立体」をキープしてあげてください。

紙製の詰め物を入れることで湿気を吸収する効果もあり、カビの防止にもなります。

湿気取りにシリカゲルを入れるのもお勧めです！

## 小物類のお手入れ

財布、名刺、キーケースなど、一番使用頻度の高い革商品です。毎日使うからこそ、お手入れすることで、愛着が湧いてきます。基本的なお手入れ方法は、靴と同様です。異なる部分は…

### 折れ曲がる部分にはクリームを多少多めに

キーケースや名刺入れなど、開閉が多い製品の場合、折れ曲がっている部分にしっかりと保湿をしましょう。

### しっとり感不足を再点検

全体的にクリームを塗ったら、しっとり感が不足している部分を確認して更にクリームを塗り込みましょう。

特に革製品の端はかさつきやすいのでしっかりとケアしましょう!

## お気に入りの革製品を長く愛用するために・・・

いくら良い革製品でも使用後にそのままにしておくと、型崩れが起き、カビ、シミなどが発生してしまいます。ケアをすることはもちろん、革製品を保管方法も気をつけましょう。

### POINT\_1 新しいうちからお手入れを！

革製品に限らず、製品は汚れやキズが付きます。新しいうちにクリームを塗っておけば、革に油分が補給され、表面に薄い保護膜ができるので、後のお手入れも簡単です。革製品を美しく保つための第一歩！

### POINT\_2 普段のケアもこまめに

革製品のケアは、人のスキンケアのようなものです。ホコリや汚れをブラシやクリーナーで早めに落としながらキズは付いてないか、シミは無いかをチェックしましょう。

革にとって雨対策は重要です。水分を多く含むと繊維が硬くなり、色落ちやシミの原因にもなります。お手入れの最後は防水スプレーを使うことで、汚れの防止になります。

## POINT\_3 革製品にも休息を

毎日、同じ製品を使用するのではなく、休息を与えましょう。

1度履いたら1日~2日あける、5回程度履いたらクリーナーで汚れを落とし、下地をきれいにしてクリームを塗るなど、定期的な休息とお手入れの習慣が大切です。

## POINT\_4 上手に保管しよう

革製品を保管する前には必ず乾燥している状態で保管することが大事です。

保管前にクリーナーとクリームでケアしましょう。汚れ(皮脂などの栄養と湿度・水分)はカビの原因となるので、防カビクリーナーがお勧めです。

保管時は形を整えて、湿気の少ない場所に置きます。特に長期保管する場合は要注意! 時々風に当てて、簡単なケアをすることでカビの発生を防げます。

保管所の関係で箱にしまうときは乾燥材、防カビなどを入れておきましょう!